

事務事業名		富岡線道路改良事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略登録事業
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	良好な生活空間の創造			
	基本事業名	生活道路の整備		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)	
根拠法令				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 平成20 年度～ 成28年 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
所属	部課名	都市整備部建設課		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 02 03 18 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	新沼克彦			
	係名	土木係	電話 0192-27-3111		
	担当者	高橋史子	内線 316		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
市道富岡線は、主要地方道大船渡綾里三陸線から富岡地区を結ぶ一級市道である。当該区間は、大船渡高等学校、猪川小学校、大船渡第一中学校、気仙光陵支援学校に通う児童・生徒の通学路となっているが、歩道が無く現況幅員が狭いことから、通学において危険な状態である。このため早期に歩道整備を行い、児童・生徒及び地域住民の交通安全の確保を図るものである。 【計画期間】 本路線の整備は、延長879.2m・幅員10.0m(片側歩道)とする。 ・測量調査設計(1式) 平成20年度 ・用地買収(1,761㎡)、補償業務(電柱等 H27～H28) ・工事施工(本線分改良舗装40m、県道分改良舗装356.4m) 平成21年度～平成22年度 ・東日本大震災の影響により一時休止 平成23年度～平成24年度 ・工事施工(839.2m) 平成25年度～平成28年度 事業費は、委託料、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。				総投入量 (千円) 事業内訳 国庫支出金 448,079 都道府県支出金 地方債 283,664 その他 一般財源 16,120 事業費計(A) 747,863 人件費 正規職員従事人数 3 延べ業務時間 2,744 人件費計(B) 10,976 トータルコスト(A)+(B) 758,839	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア 用地買収面積 m ² イ 施工延長 m ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動)			
工事施工(改良舗装435.2m) 改良・舗装 L=152m (H27繰越分) 改良・舗装 L=435.2m (H28現年分)			
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市道富岡線 市道利用者		名称 単位 カ 計画総延長 m キ 主たる利用者数(路線周辺の世帯数×1世帯当り平均人口) 人 ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
(市道が) 拡幅改良舗装される。 (市道利用者により) より安全に利用してもらう。		名称 単位 サ 十分な幅員で舗装された供用開始道路延長 m シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長) % ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
安全で快適に移動できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	96,720	110,516			
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円	61,260	69,994			
		その他	千円					
		一般財源	千円	3,220	3,684			
	事業費計(A)		千円	161,200	184,194	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2			
		延べ業務時間	時間	460	460			
		人件費計(B)	千円	1,840	1,840	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	163,040	186,034	0	0
⑤ 活動指標		ア	m ²	0	0			
		イ	m	163	424.2			
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	m	879.2	879.2			
		キ	人	1,686	1,686			
		ク						
⑦ 成果指標		サ	m	455	879.2			
		シ	%	51.8	100.0			
		ス						

事務事業ID	1373	事務事業名	富岡線道路改良事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	車両の円滑な通行と交通安全の確保を図るため、地域より道路の拡幅及び歩道の整備を要望され、平成20年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解度が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 改良整備により、安全・快適に利用できるため、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ この市道は、全区間未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない(年度ごとの実績はあるが、全区間の整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない)。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 安全で快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	平成28年度で事業完了した。	(2) 改革・改善による期待成果																			
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	➡	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	平成28年度で事業完了した。